

(様式6-3)

研修等 報告書

令和2年 11月 18日

三田市議会議長 森本 政直 様

私は、研修等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	日本維新の会 三田	代表者	印
		議員名	
参加者氏名	小山裕久		
講演会等研修名	・ 地方議員研究会 with コロナ特別講座		
研修事項	・ コロナと教育問題 ・ コロナと市内経済対策		
日 時	令和2年11月9日(月)17時～10日(火)21時		
場 所	福岡市博多区博多駅東1丁目16-14		
所 見	別紙に記載		
添付資料	・ コロナ教育問題 VOL2 ・ コロナと市内経済対策 VOL2 ・ 当日の写真		

6 添付書類（講演会内容のパンフレット等）

交付対象議員は会派名、議員名を記入してください。（代表者名、参加者氏名は不要）

令和2年11月10日火曜日 福岡市で行われました、with
コロナ特別講座、・コロナと教育問題 ・コロナと市内経済対策
の研修会に参加しましたので、以下所見を述べさせていただきます。

講師の宮本正一氏は、1967年に大阪府寝屋川市生まれ、ボストンウエント
ワース工科大学卒業後、神戸大学経営大学院でMBA、大阪市立大学大学院医学
研究科で医学博士号を取得され、現在は「日本公共経営研究所」「医療・健康問
題研究所」代表などをされており、今までの経歴、経験から with コロナ特別講
座として講師を務められました。

主な内容として、コロナと教育問題では、GIGA スクール構想を加速し学びの
保障を確立しなければならない、災害や感染症の発生等による、小中学校の臨時
休校の緊急時においても、ict の活用により全ての子ども達の学びを保障する環
境の実現の図りかたとしての先進事例を紹介され、三田市においても活用でき
る事例であった。また緊急時以外でも、学びを保障する環境を確立できれば、経
済格差による、教育の二極化の解消や不登校の子どもたちへも学びを保障する
ことが出来ると感じました。

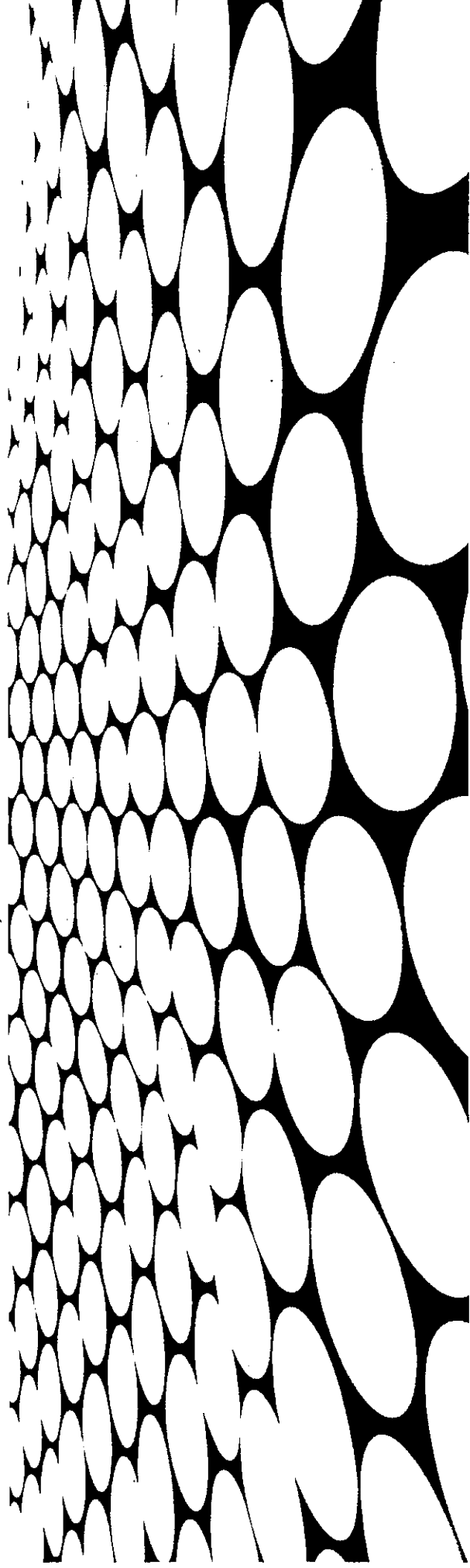
コロナと市内経済対策では、今までがインバウンドで経済が発展していた感
覚があったとおもうが、観光政策で騙されてはいけない点として、旅行業界の昨
年の売り上げが26,1兆円であったうち、20,5兆円が国内での売り上げで
あったので、議員として事業者の声をしっかり聴けているのか、自治体関連の全
産業関連データの活用、関連団体からのヒヤリング、当該自治体の関連予算、早
退比較をすることにより、その街のポジショニングを確定し効果の出る経済対
策をおこなわなければならないとの、話であった。

今回の研修をうけ、議員として私は三田市の現状を把握し、今まで以上に三田
市に対し効果のでる政策が実現できるよう努力しなければと思う所です。

以上

WITHコロナ特別講座
コロナと教育問題VOL2

宮本正一（医学博士／MBA）



WITHコロナ特別講座

コロナと市内経済対策VOL2

宮本正一（医学博士／MBA）

